

第73回 明代の社会と文化

1 明代の社会

- ・明代には、長江下流域の蘇州や杭州で、綿織物や生糸の生産が盛んとなった。
→特に綿花栽培は全国に普及し、人々の衣服も麻から綿に変わった。
→穀倉地帯は長江中流域に移り、「
と言われるようになった。

- ・陶磁器の生産地として、江西省の（ ）が引き続き栄えた。
→染付に加えて（ ）が人気となり、生糸とともに盛んに輸出された。
- ・手工業が発展すると、山西省の（ ）や安徽省の（ ）などの特権商人が、中国全土で活動するようになった。
→都市に（ ）・（ ）をつくり、同郷、同業者の活動拠点とした。
→労働者による民変、家内奴隷による奴変など、貧しい人の暴動も起こった。
- ・また国外に移住する人々もおり、これらは（ ）と呼ばれている。
- ・地方では、（ ）と呼ばれる者が登場し、有力者となっていった。
→しかし小作人である佃戸の生活は苦しく、しばしば（ ）も起こった。



染付



赤絵

染付の青(藍)色は、イランから伝わったコバルトであり、元の時代に製作されるようになった。赤絵は白磁に赤や緑など様々な色で文様を描いたもの。



会館

会館は、同郷もしくは同業の商人たちが、親睦のために建設したものである。宿泊施設や倉庫などを備えた会館が多く、都市で商売をする際の拠点となった。

2 明代の学問

- ・明代の儒学では、南宋の朱熹が大成した（ ）が官学となった。
→16世紀初めに、朱子学を批判する新たな儒学も誕生した。
- ・また科学技術への関心が高まり、いわゆる（ ）が盛んとなった。

<儒学>

（ ）…南宋の陸九淵の思想を継承して、（ ）を創始した。

「心即理」…全員の心のなかに真の道徳は備わっているという考え。

「致良知」…そのありのままの善良な心(良知)に戻るという考え。

「
」…陽明学の基本原理で、認識と実践は一体という考え。

李贄(李卓吾) …陽明学に属する思想家で、男女平等を説いて官僚を批判した。



陸九淵(陸象山)

南宋の儒学者で、朱熹と同時代の人である。朱子学が「性即理」と説いたのに対し、陸九淵は「心即理」を説いた。第42回を復習。



王守仁(王陽明)

科挙にトップ合格した父親を持つエリートである。朱子学が読書など知を重んじるのに対し、陽明学では実践を重んじた。そのため陽明学者には行動派が多い印象がある。



李贄(李卓吾)

イスラーム教徒であったという説もある。官僚を偽善者と批判し、男女平等を説く思想は、当時の人々にとってはあまりにも過激すぎた。

<実学書>

- 『』… () が書いた農政・農業関係の本。
- 『』… () が書いた薬物に関する本。
- 『』… () が書いた産業技術の挿絵つき解説書。



マテオ=リッチと徐光啓

徐光啓は、マテオ=リッチ(利瑪竇)の影響でキリスト教徒となった。マテオ=リッチは、イエズス会の宣教師でありながら、中国の服を着て、漢字を書くこともできた。



李時珍

左の絵は、李時珍の功績を記念する切手である。『本草綱目』は全52巻で、1898種の薬物と、その処方例 8161 種類が紹介されている。



『天工開物』の挿絵

当時の産業技術を、豊富な挿絵で紹介した。左の絵は、製紙法の紹介。すいた紙を乾かしている場面と思われる。出版当初は、あまり評価されなかったらしい。

・明代後期はヨーロッパの大航海時代にあたり、1557年にポルトガルが () の居住権を獲得した。また () によるキリスト教布教も行われた。

- () …イエズス会の創立メンバーで、インドや () で布教活動を行った。中国布教を目指すか、途上で病死した。
- () …イタリア人宣教師。1602年、中国最初の科学的な世界地図である『』を作成した。
『』を、徐光啓とともに漢訳した。
- () …ドイツ人宣教師。1642年、徐光啓らと『』の作成を行い、大砲の鋳造も行った。清にも仕えた。



『坤輿万国全図』

地球球体説に基づき、卵形の図形の中に世界地図を描いた。アメリカ大陸も載っている。北京が経度 0 度であり、地図の中心に置かれている。



アダム=シャル(湯若望)

明末に中国にきた。明の滅亡後は清で天文台長官として活躍した。『崇禎曆書』は、清代に『時憲曆』として施行された。

3 明代の文学・美術

・文学では、印刷による書物の普及により庶民が小説に親しむようになり、講談・劇も盛んに演じられた。

<文学>

- ・宋、元と発展してきた民衆文学の多くが、明代に完成した。
→特に『』・『』・『』。
『』は、四大奇書と呼ばれて人気を集めた。
- ・短編小説集の『今古奇観』や長編戯曲の『牡丹亭還魂記』も知られる。



『三国志演義』の挿絵。歴史書である『三国志』に、フィクションが加えられたもの。元代に原型ができ、明代に羅貫中が完成させた。

<絵画>

- () …文人画の流れを組む南宗画を大成した画家・政治家。
仇英 …院体画の流れを組み、濃厚な色彩に特徴のある北宗画を大成した。